



平成 21 年 2 月 2 日

各 位

会 社 名 曙ブレーキ工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 信元 久隆
 (コード番号 7238 東証第一部)
 問合せ先 代表取締役副社長・CFO 荻野 好正
 (TEL. 048-560-1501)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 9 月 26 日に公表致しました連結業績予想を下記のとおり修正し、配当予想についても修正を致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	179,700	6,800	5,100	2,500	23 円 30 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	158,000	△6,500	△8,500	△7,000	△65 円 22 銭
増 減 額 (B-A)	△21,700	△13,300	△13,600	△9,500	—
増 減 率 (%)	△12.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	184,731	15,158	12,619	6,637	61 円 85 銭

(修正の理由)

昨年 9 月以降の金融危機が実態経済にも影響を及ぼし、国内外完成車メーカーは過去にない急激且つ大幅な減産を行っております。この急激な減産からくる大幅な受注減少から、業績にも多大な悪影響が発生しております。加えて株式市場の低迷に伴う投資有価証券の評価損計上、北米生産拠点閉鎖に伴う損失計上などにより、平成 21 年 3 月期の連結業績は、前回公表した (平成 20 年 9 月 26 日) 予想値を大幅に下回る見込みとなりました。

この事業環境の激変に対し、当社グループでは、国内外の生産設備・人員に想定を上回るレベルの余剰感がでてきており、早期の業績回復の為に、国内外生産拠点の再編をスピードアップするとともに、下記のような緊急施策を進めております。

- 役員報酬及び管理職の給与削減
- 大幅な減産に即応した日米での人員適正化
- 筋肉質なコスト構造を達成するための徹底した固定費・経費の大幅削減
- 大幅な生産減少を背景にした国内外の資産の有効性の見直しによる資産の圧縮
- 設備投資の絞込み、遊休資産の有効活用

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであります。

1～3月の完成車メーカーの生産動向は依然として不透明な状況であり、また、収益体質改善のための上記緊急施策の進展 (規模・深さ) 等の様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正

(1) 平成21年3月期配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年5月7日)	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
今回修正予想	—	—	—	(未定)	(未定)
当期実績	—	5.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	—	5.00	—	5.00	10.00

(2) 修正の理由

経営環境の急速な悪化により通期の業績予想を上記のとおり下方修正することに伴い、期末配当につきましては、当期の通期業績並びに来年度の業績予想を今後更に見極めながらご提案をさせて頂くこととし、現時点では未定とさせて頂くことといたしました。

以 上